

自然感

# くすのき



## 季節感

梅雨入り前ころから、緑一色の葉の上側だけが純白に染まる。小さく見える蕾は白い花を咲かせ、9月頃に実を結ぶ...

『マタタビの葉』

平成20年6月1日  
糟屋郡久山町猪野ダム  
大塚俊樹



## 熊海居人独言

# 27

梅雨とは：福岡管区気象台は6月10日、北部九州（山口を含む）は梅雨に入ったと思われると発表した。今年はや年よりは5日遅く、昨年よりは3日早い梅雨入りであった。福岡地方は当日は薄曇り～曇り空であったが、翌11日は本格的な雨であった。ここでクマは、気象現象としての「梅雨」とはわれわれにとって何だろう、と考えた。辞書には、ウメの実が熟す頃から降り出す雨の季節のことであると記されている。また、いろいろな物に「黴＝カビが生える季節であることから「黴雨＝ばいう」とも言う」と書いてある。

気象用語としては、「梅雨＝つゆ」は晩春から夏にかけて雨や曇りの日が多く現れる現象とその期間、と定義されている。この季節、日本付近には殆ど毎日「梅雨前線＝ばいうぜんせん」が張り付いている。前線の北側には寒気を伴う大陸高気圧が、南側には暖かい太平洋高気圧があり、その境界で寒気団と暖気団が前線帯をつくり、その上に次々に低気圧が発生する。そして、前線上で雲が発達して本格的な雨を降らせている。「梅雨入り」「梅雨明け」とは、日本の各地方を管轄する管区気象台が、その地方毎に発表する気象用語であるが、正確な入りと明けについては、その年の後半に検討の上「何日頃であった」と修正されている。

「梅雨」に関係する言葉としては次のようなものがある。『菜種梅雨』＝菜の花が咲く頃の長雨。『梅雨寒』＝梅雨期間中の顕著な低温。『陽性の梅雨』＝強雨と晴れの繰り返し。気温は高めである。『陰性の梅雨』＝じめじめとした長雨。気温は低めである。『空梅雨』＝梅雨期間中の雨の日や降水量が少ない状態。近年は空梅雨になると水飢饉が起こり易い。

さらに、旧暦の時代にできた言葉として「五月晴れ＝さつきばれ」「五月雨＝さみだれ」などがある。いずれも旧暦の5月は現在の6月であり、梅雨の季節であったからできた言葉である。

自然観察指導員の皆さんもこの季節に活動されるとき、「梅雨」を意識してみませんか。

6 / 2 1 (土) 19 時 海の中道海浜公園にて夜の自然観察会を実施

6 / 2 2 (日) 10 時 海の中道海浜公園にて総会を実施

詳細は次のページで!

## 事務局からのお知らせ

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。  
(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブドHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

**お願い** 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

# ☆2008年定例総会のお知らせ☆

2008年定例総会は、福岡市東区海の中道海浜公園  
(地図参照)にて実施します。

**日程：6/22(日) 午前10時～15時半ごろ予定**

午前10時～12時  
公園内で「海岸近くの森の生きもの観察会」を実施  
午後1時～15時半ごろまで  
海ノ中道海浜公園内森の家にて定例総会

**集合場所：海ノ中道海浜公園内森の家前 10時**  
要入園料：400円

**交通機関/JR：「海の中道駅」もしくは「西戸崎駅」下車、  
徒歩約15～20分**

**西鉄バス：天神郵便局前から「西戸崎駅前」下車**

お車の場合：公園付属の西駐車場が便利です(利用料：510円)

**緊急のお願い**

総会前日6/21(土)の**宿泊計画は取り消しとします。**

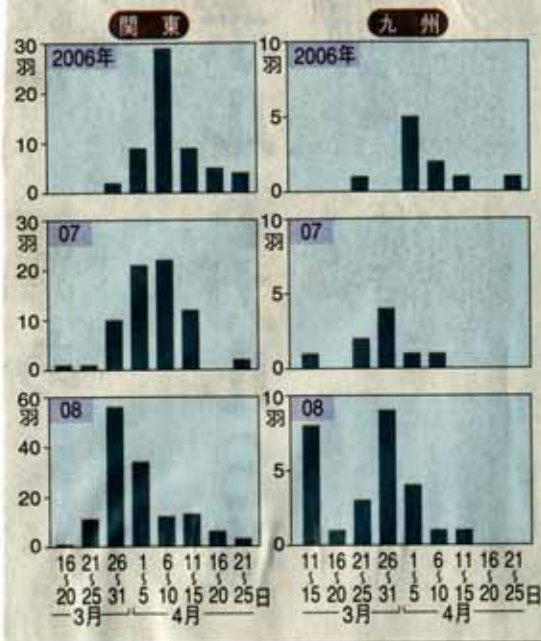
夜の自然観察は、昆虫を中心に**開催します。**6/21/19時に  
海の中道海浜公園管理事務所前に集合し、実施します。

事務局田村(電話&FAX：092-400-1765)までお申込み下さい。



ちよつと気になる  
ごんごんな記事

## 九州と関東のツバメの飛来



## ツバメ飛来早まる

NPO全国調査 温暖化 影響か



春、日本に渡って来るツバメ。その飛来時期がここ三年、九州など全国各地で徐々に早まっていることが、特定非営利活動法人(NPO)法人「バードリサーチ(東京都)の調査で十二日までに分かった。バードリサーチは温暖化が影響している可能性もある。長期間の調査が必要だ」と話している。

この結果、〇六年の関東地方の飛来数は四月六日(十日が最も多く、確認できた六十二羽のうち二十九羽が集中。〇七年のピークも四月六日だったが、四月十一日に

ツバメは東南アジアで越冬し春から夏にかけて日本で繁殖する。調査は二〇〇六年から実施。インターネットを通じて全国に呼び掛け、自宅の軒先に最初にツバメが飛来した時期を連絡してもらった。集まった情報は〇六年に百四十六件、〇七年は百八十五件、今年には三百九十八件。

九州は〇六年、四月一日が最も多く、確認できた十羽のうち五羽が飛来。〇八年はピークが三月二十六日(三十一日に移り、確認できた二十七羽のうち九羽、三月十一日、十五日にも八羽が飛来した。近畿でも〇六年の

もほぼ同数が飛来。今年のピークは三月二十六日(三十一日だった。

九州は〇六年、四月一日が最も多く、確認できた十羽のうち五羽が飛来。〇八年はピークが三月二十六日(三十一日に移り、確認できた二十七羽のうち九羽、三月十一日、十五日にも八羽が飛来した。近畿でも〇六年のピークは四月十一日(十五日だったが〇七年は四月六日、今年三月二十六日(三十一日)にピークは三月十一日、十五日にも八羽が飛来した。近畿でも〇六年のピークは四月十一日(十五日だったが〇七年は四月六日、今年三月二十六日(三十一日)にピークは三月十一日、十五日にも八羽が飛来した。近畿でも〇六年のピークは四月十一日(十五日だったが〇七年は四月六日、今年三月二十六日(三十一日)にピークは三月十一日、十五日にも八羽が飛来した。近畿でも〇六年の

**日本野鳥の会福岡支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

6 / 15 (日) 7 / 20 (日)  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時間：9:00～12:00  
集合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

6 / 28 (土) 7 / 26 (土)  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時間：8:00～11:00  
集合：久末ダム多目的広場横駐  
車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

7 / 6 (日)  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時間：9:00～12:00  
集合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

7 / 12 (土)  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時間：9:00～12:00  
集合：ポート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

7 / 13 (日)  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時間：9:00～12:00  
集合：JR 和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）



**日本野鳥の会筑後支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

6 / 22 (日)  
濃施山公園（みやま町）  
時間：9:00～  
集合：公園内すいせん橋  
問合せ：0944-58-1672（野田）



**福岡植物友の会 主催**

6 / 15 (日)  
地島（福岡県宗像市）  
ミヤコジマツツラフジ・ヤブツバキ  
他  
詳細は：092-947-6536（大吉博子）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

7 / 6 (日)  
三国の里山を歩こう！  
時間：9:30～12時30頃  
集合：埋蔵文化財調査センター  
駐車場  
問合せ：092-920-3072（松永）

要：保険料  
エフコープさんの環境助成金で自然  
観察冊子ができあがりました。冊子  
は観察会のたびに配布します。欲  
しい方は観察会にご参加くださ  
い。



**和白干潟を守る会 主催**

6 / 28 (土)  
守る会定例会議  
時間：10:30～12:30  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本弘子）

6 / 28 (土)  
クリーン作戦 と自然観察会  
時間：15:00～17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

6 / 29 (日)  
高良台  
きのご観察会ときのご汁会  
時間：10:00～14:30 小雨決行  
集合：上津小学校運動場横 10時  
持物：筆記具、長袖、長ズボン、長靴  
参加費：300円 先着20名様  
指導：金子周平先生  
問合せ：0942-46-8622



**福岡市油山自然観察の森 主催**

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。



6 / 28 (土) 6 / 29 (日)  
油山自然案内人ボランティア入門  
（2回連続）  
自然の楽しみ方を人に伝える自然案内  
体験とボランティアグループの紹介  
を行います。  
時間：10:00～13:00  
対象：高校生以上  
申込み：往復はがき6 / 20 必着  
定員：20人  
参加費：200円  
雨天実施

問合せ：油山自然観察センター  
参加費：100円  
〒811-1355  
福岡市南区松原夫婦石 855-1  
TEL：092-871-2112  
開館 9:00～16:30（月曜休館）



## 第4回 「総合的な学習の時間」と「曾根干潟のカブトガニの産卵を中心とした生活」

國廣 勝

### (6) 【出来るだけ潮位の高い所に産卵適地を探すカブトガニ】

写真は満潮時、産卵適地を探して移動中のものですが、最高潮位といってもそんな処は地形によっては数十分から一時間前後で潮がひき始めます。カブトガニは一匹の雌が、産卵期に約二万粒余りの卵をもっていると言われますから、僅かな「一朝」の時間にできるだけ沢山の卵を産まない、何度も満潮を待って産卵に来なければなりません。

「日本カブトガニを守る会」大分支部の西原繁朝さんの、守江湾における以前の観察記録では、個体によって差はありますが連続六回が最高記録だったそうです。潮が引き始めると、あっちでもこっちでも、帰りそこねないように写真の様な姿が見られるのです。



### (7) 【異常な三連つがい、先頭が雌】(下)

カブトガニは夫婦仲がよい動物といわれていますが、一度つがいになったら離れないともよくいわれています。写真は朽網川河口の産卵場所で見えた三連つがいですが、時には四連つがいの時もありました。一匹の雌に二匹や三匹もの雄がくっつくと、雌の行動に負担を掛けそうに思われますが、産卵の時以外は水中生活なので浮力があり、比較的うまく泳いでいるようです。カブトガニがつ



がう理由は、広い海の中で産卵時に雌を探し出す手間を省くという説、一度つがって離れなければ、他の雄に雌を奪われないで済む等と様々な説がありますが、いずれにしても、成体の生活場所が海の底の事ですし、この言い方も人間の想像の外には出ていないようです。私が朽網川河口の産卵場所で観察した多重連結のつがいの、二匹目・三匹目の雄は、体が貧弱で甲羅に付着物が多く古ぼけており、すこし小型で老化のためか体色も錆びて見え、いかにも雌にもてなさそうに思えたのは、私の気のせいでしょうか。



### (8) 【貫川河口での夜間産卵の様子】(右)

以前はカブトガニの産卵は大体七、八月の大潮の日の満潮時を中心に、主として夜間に行われると言われていました。

しかしここ曾根干潟の貫川河口では中潮、大潮関係なく満潮時、最高潮位が砂地まで達していれば夜昼関係なく、産卵に来るようです。もちろん潮位だけが産卵条件ではありませんが、ただ新月の大潮・中潮よりも、満月の大潮・中潮のほうが多く、日中よりも夜間の方が多少来浜つがい数は多いようです。

## 本の紹介

『わたしのノラネコ研究』 著者 山根明弘 さ・え・ら書房 1300円+税

「ノラネコの研究をすることの意味は、ノラネコを詳しく観察することによってわかったことが、ほかの野生の哺乳類の社会や生態のナゾをときあかす大きなヒントになることです。(本文より)」

北九州市立自然史・歴史博物館(いのちのたび博物館)の学芸員、山根明弘先生(専門は、動物の生態学と集団遺伝学)が九州大学大学院理学研究科の生態学研究室にいらしたときの7年間に渡る相島でのノラネコ調査を書かれた本です。

将来動物をあつかった仕事をしたいという人やノラネコのこともっと知りたいという人のために、子供が読んでわかるように書かれたということですが、内容はまさに観察、研究とはどういう手順で、どういう方法でやるか、というもので、私たち指導員にとってもとても学ぶことの多いものと思います。淡々と書かれた文章は、その場に読者もいて一緒に研究をしているような気持ちになります。また地元の方々との接し方のようなことにも触れられていますので、皆さんの調査、観察にも役立つことでしょう。是非読んでみてください。

松永 紀代子 willard@mbc.ocn.ne.jp



# 寄稿その1 脊振山系の道標整備について

「脊振讃歌」著者 池田友行

今年2月23日(土)に「脊振讃歌」の出版祝賀会をN A I S福岡の皆さんの参列もあり盛況の内に終わることが出来ました。ご列席して頂いた皆さんに厚くお礼申し上げます。

脊振山系の道標整備は私が学生時代(3年時)に母校(西南学院大)の50周年ワグ-フオグルの10周年記念として整備しました。もう40年も前のことです。今はその道標は跡形もありませんが、この5月に前原市とそのボランティアの方々の手で雷山 水無鍾乳洞まで整備が完了しています。その行事は間伐材を引き降ろしてから防腐加工、製材、文字入れまで全てボランティアでされた壮大なものです。

私も「脊振讃歌」出版記念として脊振山 三瀬峠までの道標整備を思いたち、早良区役所が「脊振へのいざない」ガイドマップの増刷を知り早良区区長に脊振の道標整備の企画を提案しました。母校ワグ-フオグルが来年創部50周年を迎えるので記念行事としてジョイント企画です。

区長にお目にかかるのは2度目ですが、区長には快諾して頂きました。もちろん提案には手ぶらでは行けないので前原市の商工観光課のI氏を訪ね企画から手順までを伺ってからでしたし、事前に前原市の道標整備の情報を区長のアポを取るときにメールで知らせていました。(I氏とは偶然道標整備中に遭遇し名刺をもらっていました。)

どのような手順で整備を行うか思考中ですが、年内には整備を完了したいと思っています。

ワグ-フオグルのメンバーだけでは人数不足の可能性があるので、皆様のご協力をお願いするかも知れませんが、その節はよろしくをお願いします。

予定道標数：20数本、案内版：2箇所

前原市の皆さんが整備した道標の写真を2枚添付します。

～案内板分かれ～



～道標分かれ～



## これは何だろう!?



これは何だか解りますか?

この花は何の花かわかりますか?  
私たちにゆかりの深いものですよ

《前回の解答》

サトイモ科テンナンショウ属のムサシアブミの佛炎ほうでした。昔、武蔵の国で作られた鐙(あぶみ、乗馬の足受け)に、その形が似ているからその名がついたそうです。

～ 寄稿その2 お陰様という挨拶言葉について ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

時々自然観察を進めていて、お陰様という言葉を考えます。この言葉は、人の暮らしの中で、自分が生きていく中で、周りの人達と繋がっていて、生きていくことができるということだと思っています。毎日食えることができるお米は、調理する人、運ぶ人、精米する人、稲を育てる人、農機具を作る人、水を管理する人などが存在して可能となるわけです。関係する人の輪はどんどん広がることが分かります。

いろいろな生きものが関係しあって、生かされているというか、生きていることと重なります。人の立場から見て、共生関係とか寄生の関係という生き物の関係もそういう繋がりの中で、成り立っていることだと思っています。

お陰様という言葉の意味を考えつつ、観察会をやってみたい。  
また、「もったいない」という言葉、塵という言葉を考える上で、人間の暮らしの中のみ考え方だと思っています。

人の暮らしの中で生み出された塵、それを集めて貯めておくものに護美箱という箱があります。美しさを護るための箱です。しかし、自然が生み出すものの中にはそういう概念に当てられるものはないようです。

自然の中で、塵といえるものが有るのでしょうか。全て何か役割を持っています。いらぬものはないようです。1枚の葉が親の木から離れた後、虫が食べる、ミミズが齧る、菌類が分解しその栄養となり、土壌の一部となる。こういう視点で「塵」を見つめる。自然の中の循環の中に、我々の塵は入れるようにしたいものです。 (田字草)

事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。  
郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783  
年会費:2000円



皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(南)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2008年7月11日(金)午後6時より事務局で行います。7月号の原稿は、6/30(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第86号 2008年6月1日  
自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第122号(08.05.12)  
福岡植物友の会 会報 平成20年6月号 第49号

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表：冷川昌彦 / 事務局長：小野 仁 /  
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計：宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号  
ハイツ中村401  
自然案内舎(南)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765  
URL : http://www.kurabird.com/  
掲示板 URL: http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/

**編集後記** 2008年5/9定例発送会は、藤川渡・山本勝・大塚俊樹・辛島真由美・田村耕作が参加。冷川昌彦・田中健二から欠席の連絡。MYから大変おいしい焼き芋の差し入れあり。このところ、車の燃料代の右肩上がりすごい。運動を兼ねて市内の移動はなるべく自転車にしています。自転車の場合、どこでも止めやすいし止まりやすい。先日も樋井川沿いを自転車で移動していたお陰で、カワセミ、ササゴイなどが目を楽しませてくれました。田字草

